



## 高橋酒造 田野蒸溜所・ 交流施設

Takahashishuzo  
Tano Distillery  
Community Facility

高橋酒造田野蒸溜所・交流施設は、令和2年7月豪雨で被災した人吉球磨地域を元気づける復興拠点として、球磨焼酎で知られる老舗酒造メーカーが、新たに手掛けたウISKYの蒸溜所と交流施設である。

人吉市南部・標高680メートルの山間地に位置し、田園に囲まれた敷地の南側にある美晴山では、毎年野焼きが行われるなど、地域住民による景観の保全が続けられている。赤い屋根の木造校舎と体育館は、長年地域のシンボルとして親しまれてきた場所であり、既存の建物を活かしたコンバージョンにより、周辺の自然景観と調和した空間へと再生された。

ウISKY蒸溜所としての機能に加え、製造過程の見学や体験が可能な場として、地域住民や来訪者が集う交流施設としても機能し、地域の記憶と美しい景観を次世代へ継承する新たな拠点として生まれ変わった。

く ま も と  
アートポリス  
K U M A M O T O  
A R T P O L I S





# 高橋酒造 田野蒸溜所・交流施設

## ●建築概要

田野蒸溜所・交流施設は、2020年7月の九州豪雨で甚大な被害を受けた熊本・人吉球磨地域で、球磨焼酎メーカーの高橋酒造による新たな事業展開として整備するウイスキー蒸溜所・交流拠点である。

本計画は豊富な水資源と美しい田野高原や水田の景観に恵まれる人吉市田野町(標高680m)に建つ廃校となった旧・田野小学校(1988年竣工)を活用し、再生したものである。木造の校舎を貯蔵庫やギャラリー・オフィスに、鉄骨造の体育館を蒸溜所に改修し、グラウンド側に試飲スペース・ショップを増築して2棟をつないでいる。廃校となった小学校の特徴を継承しながら、雄大な田野高原の風景を享受できる場を創出した。

計画にあたり、地域の方々にとって愛着がある赤い屋根という〈物質的記憶〉、小学校の教室のインテリアから感じられる〈郷愁的記憶〉、田野高原の風景の骨格をなす〈地域的記憶〉、という3つの記憶を継承するような再生を考えた。

まず、地域のシンボルの赤い屋根は、老朽化が進んでいたためマテリアルは変えながらもその存在を継承している。インテリアは小学校らしさを感じさせる郷愁的な教室の骨格は残しつつ、天井を抜いて天井裏の木架構を演出した貯蔵庫やギャラリーのほか、一部2階の床を挿入して展示スペースへ改修した。校舎と体育館をつなぐ増築部には試飲スペース・渡り廊下を設け、この地域の特徴である田野高原の雄大な風景を一望できる場所をつくっている。

体育館を改修した蒸溜所には増築部2階の渡り廊下からつながる見学ブリッジを挿入し、ブリッジ先端には北側の水田の風景の見える展望スペースを設けた。増築部の1階はピロティとし、蒸溜所と貯蔵庫をつなぐ軒下の生産動線としている。機能的には1階の生産ゾーンと2階の見学ゾーンを分離し、水平面の上下で2つの異なった風景をつくり出している。

## ●建築家プロフィール



平瀬 有人 (ひらせ ゆうじん)

1976年 東京都生まれ  
2001年 早稲田大学大学院  
修士課程修了  
2007年 yHa architects  
2008～  
2023年 佐賀大学准教授  
2023年 早稲田大学芸術学校教授



平瀬 祐子 (ひらせ ゆうこ)

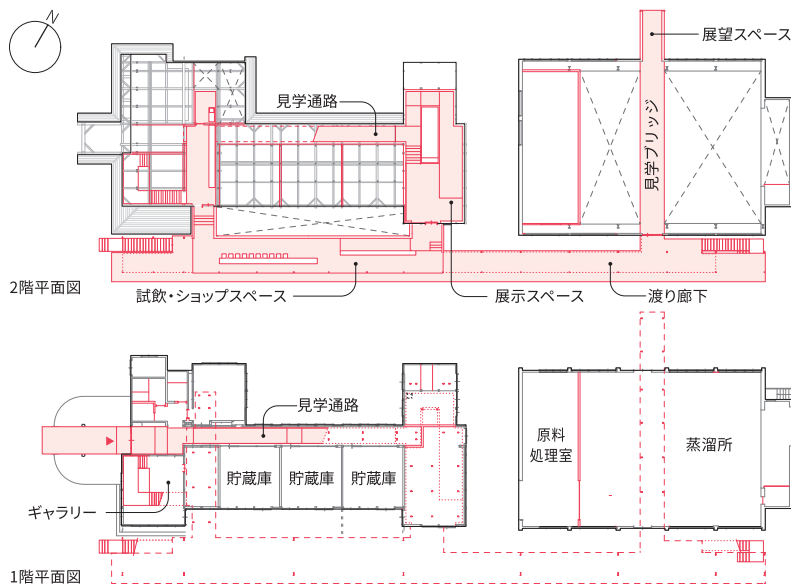
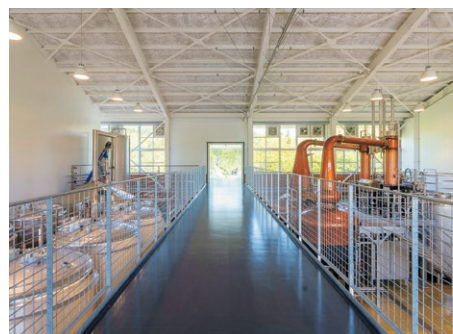
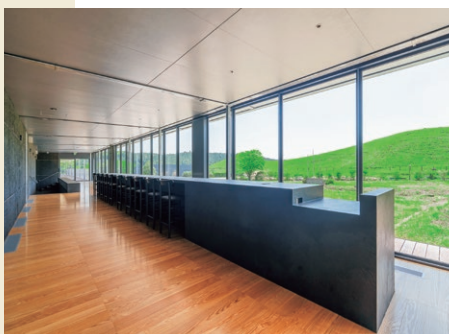
1975年 東京都生まれ  
2001年 早稲田大学大学院  
修士課程修了  
2008年 yHa architects

## ●主な作品

富久千代酒造 酒蔵改修ギャラリー、五ヶ山クロス ベース、  
天神中央公園ハレノガーデン、御嶽山ビジターセンター、  
TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE

## ●主な受賞

2016年 日本建築士会連合会賞優秀賞  
2016年 日本建築美術工芸協会芦原義信賞  
2016年 JID AWARD2016 大賞  
2019年 SDレビュー2019 朝倉賞  
2022年 第4回日本建築設計学会賞  
2024年 iF DESIGN AWARD 2024



## ●建築データ

名称 / 高橋酒造田野蒸溜所・交流施設  
所在地 / 熊本県人吉市田野町3316-4  
主要用途 / 工場(ウイスキー蒸溜所)  
事業主体 / 高橋酒造株式会社  
設計者 / 平瀬有人・平瀬祐子  
施工者 / 株式会社速永工務店  
敷地面積 / 11,011.23㎡  
建築面積 / 1,183.41㎡  
延べ面積 / 1,278.32㎡(改修前:897.58㎡)  
階数 / 地上2階  
構造 / 木造(既存校舎)・鉄骨造(既存体育館) 鉄骨造(増築部)  
外部仕上 / 屋根 / ガルバリウム鋼板嵌合式立平葺・セメント洋瓦  
外壁 / 溶融亜鉛メッキ鋼板・サイディングの上塗装  
施工期間 / 2023年6月～2024年10月  
総事業費 / 非公開



くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木建築住宅局建築課  
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1  
Tel.096-333-2537